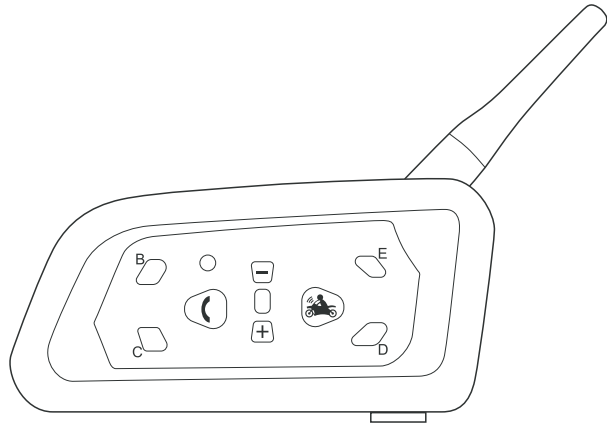
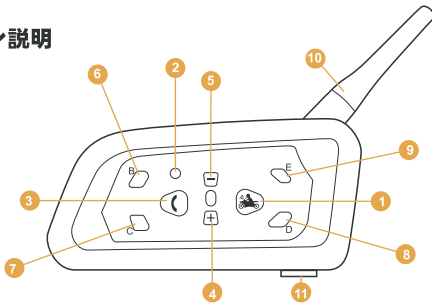


EJEAS®



ユーザーマニュアル V6 / V6 Pro に適用

ボタン説明



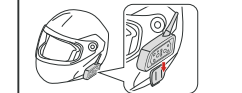
1. 電源を入れます/カップリングA (多機能ボタン)
2. 急速的に電源を切ります
3. 電話ボタン (電話を出す、携帯をカップリング)
4. ボリューム+
5. ボリューム-
6. Bボタン
7. Cボタン
8. Dボタン/機能
9. Eボタン/機能
10. イヤホンインターフェース
11. ヘッドフォンジャック/ USB充電器インターフェース

V6性能が安定したオートバイBluetoothランシーバーで、最大通話距離は1200メートルぐらいで、一般的に野外使用距離は300から800メートルで、同時に、性能が高いBluetoothワイヤホン (距離は15メートル) で、自動的に電話を出られて、音声知らせ、使用する時は一層便利で、安全になります。最新な生産工芸を採用し、超音波ネジなしの構造で、IP65防水、音質が良く、オートバイを利用する人のために設計され、出行の安全を保証します!

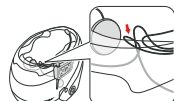
取り付け説明



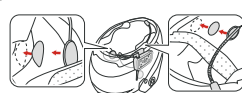
- 1 クリップのネジを緩め、ヘルメットに取り付けて固定します。



- 2 ホストをインストールする。



- 3 内部にベルクロ、粘着性のベルクロを使用し、硬い大妻/ヘルメットを選択します。



- 4 散らかった糸を整理し、ヘルメットの内側のフォームに押し込んで、簡単に着用できるようにします。

携帯での使用説明

1、電源を入れる/電源を切る：
電源を入れる：【電源を入れるボタン/Aボタン】が2秒を押し続け、親機パイロットランプが閃き、電源を入れたと意味します。
電源を切る：電源を入れた状態で、直接【高速に電源を切る】ボタンを押します。

2、携帯の (GPS/MP3) と接続：
電源を入れた状態で、【電話ボタン】を6秒押し続け、パイロットランプの赤ランプとブルーランプが交替的に点滅になってから手を放し、携帯のBluetoothをオンにして、BluetoothワイヤホンのV6-1200検索し、カップリングをクリックし、携帯と成功にカップリングした後、Bluetoothランシーバーのパイロットランプはブルーランプに正常に閃きます。(GPS/MP3若しBluetooth機能をサポートする場合、操作方法は携帯と同じです。)

3、最後にかけた電話番号を再ダイヤル：
電源を入れた状態で、【電話ボタン】を3秒押し続けると、最後に通話した電話番号を自動的に再ダイヤルします。

4、電話を出す：
電話をかけてきた場合、5秒に何も操作がない場合、電話が自動的に出て、または親機【電話ボタン】を押して出ます。

5、電話を出ない
電話がかけてきた場合、【電話ボタン】をダブルクリックして切ります。

6、音楽の再生と一時停止
【電話ボタン】を軽く押して、(95%の携帯音楽の再生をサポートします)。

7、ボリュームの調整：
【ボリューム+】を押し、ボリュームが大きく調整し、【ボリューム-】を押して、ボリュームが小さく調整します。

8、再生曲の選択
前の曲、【ボリューム+】をダブルクリックし、次の曲は【ボリューム-】をダブルクリックします。

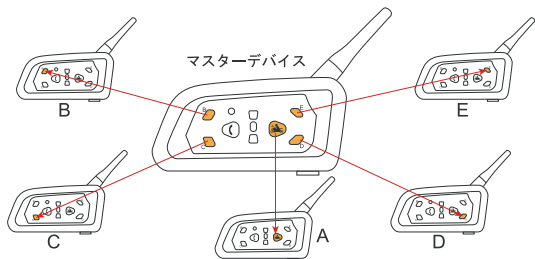
9、充電の知らせ
充電する時に、パイロットランプの赤いランプは閃き、充電した後、赤いランプが消します。

10、ベアリングをクリアします
電話ボタンとBボタンを同時に押すと、赤いライトが3回点滅し、青いライトが1回点滅します。

Bluetoothの通話操作

V6は、6つの乗員がデバイスを使用し、2つの乗員が同時に通話、1つのマスタと5つのサブデバイスがペアリングされ、マスタがA/B/C/D/Eのサブデバイスから1つの乗員を選択して通話できる。

注意：マスタデバイスは他の5つのデバイスと同時に通話できませんので、1つのサブデバイスを選択して通話してください。A/B/C/D/Eから選択し、メイン装置のMOTOR/B/C/D/Eボタンを押して切り替えることで、二人の通話が可能になる。他の5つのサブデバイスは相互接続できない。



1、A組のカップリング

マスタデバイスとAデバイスのMOTORボタンを約5秒長押しすると、デバイスの赤と青のランプが同時に点滅する。相手を見つけると、どちらかが自動的にペア接続を開始し、青灯が素早く点滅します。しばらくするとブルーライトが同時にスローフラッシュされ、二台のデバイスが通話できるようになった。次の子機とペアリングするには、まずMOTORボタンを押して接続を切ってください。

2、B組のカップリング

マスタ装置とB装置のBボタンを約5秒長押しすると、装置の赤と青のランプが同時に点滅する。相手を見つけると、どちらかが自動的にペア接続を開始し、青灯が素早く点滅します。しばらくするとブルーライトが同時にスローフラッシュされ、二台のデバイスが通話できるようになった。次の子機とペアリングするには、Bボタンを押して接続を切ってください。

C、D、E機器のペアリング方式も同様である。

簡単に説明すると、マスタ装置のMOTOR/B/C/D/Eボタンは、他の5つのサブ装置のMOTOR/B/C/D/Eボタンとペアリングする。ペアリングが完了すると、マスタ装置に対応するペアリングボタンを押して他の五つの子装置と対話する。

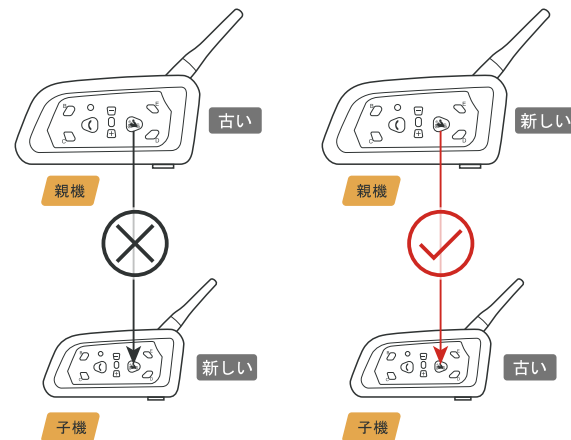
例：マスタ装置がA子装置と通話する必要がある場合、マスタ装置のMOTORボタンを押して接続通話を行う。マスタ装置が子装置Bと通話する必要がある場合は、マスタ装置Bボタンを押して通話を切り替える。C、D、Eの動作も同様である。

ご注意：次回ご利用の際は、再度ペアリングする必要はありません。マスタ装置のMOTOR/B/C/D/Eボタンをクリックするだけで接続でき、通話できます。

ご注意

- 1、正しく取り付け、雨が降る時に、親機のイヤホーンのインターフェースは下へ向いて、イヤホーンのインターフェースは完全に差し込んだ状態を維持し、親機に水が入らないようにご注意ください。
- 2、電池の使用時間を保証するために、標準に符合する充電器を使ってください。
- 3、運転の安全を保証するために、運転する状態で音楽を聞かないほうがいいでしょう。
- 4、運転する状態で、親機ボタンを手動的に操作しないでください、運転の安全にご注意ください。
- 5、通信距離を保証し、広い場合でご使用してください。

トランシーバーのペアリング説明



* 旧版のトランシーバーがホストとして使用されている場合、新版のトランシーバーに正常にペアリングできません。

新版マシンをホストにしてこそ、旧版マシンとのマッチングが成功します。

注意

トランシーバーがペアリングできない場合は、ペアリングをクリアした後、もう一つのマシンをホストとペアにしてください。